

土岐川グリーンベルト通信 第42号

平成 25 年度「三ッ池の森」多治見中学校による活動報告

今年度、多治見中学校では、「総合的な学習の時間（環境学習）」の一環として、1年生 164 名を対象として、樹林の大切さ・樹林整備の意義についての学習会を2回、三ッ池の森の樹林整備活動を1回行いました。

○第1回学習会「森の大切さ」 平成 26 年 1 月 17 日

講義「樹林の大切さ、樹林と人とのかかわり、
樹林整備の必要性、土砂災害に強い森」
～NPO 法人鎮守の森より、長尾講師を招いて～

○第2回学習会「樹林整備前の安全学習」 平成 26 年 1 月 20 日

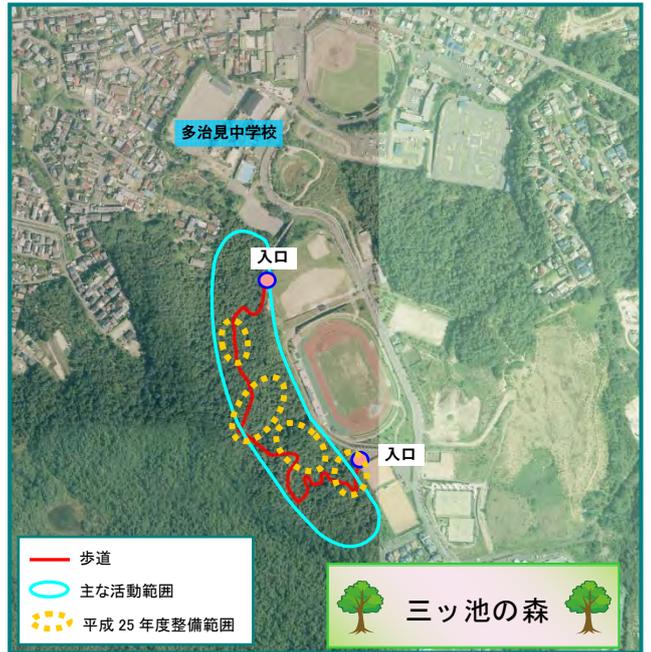
講義「樹林整備の方法（木の切り方・片付け方、切る木・残す木など）、安全な樹林整備のためのルール」

実習「ヘルメットのかぶり方」

○樹林整備活動 平成 26 年 1 月 24 日

18 班にわかれて、三ッ池の森を整備

- ・常緑低木や成長の悪い木等の伐採（間引き）
- ・ネザサの刈取り
- ・整備面積：約 3,500 m²



学習会の様子

1/17 第1回学習会「森の大切さ」

-NPO 法人鎮守の森より長尾講師を招いて-

講義の様子



整備の必要性を学ぶ ～木の気持ちを体験～



適度な密度で生えた木

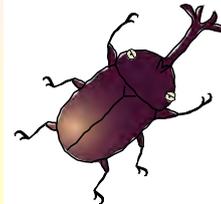


密生して生えた木

1/20 第2回学習会「樹林整備前の安全学習」

-安全で楽しく作業するために-

ヘルメットのかぶり方講習の様子



安全学習の様子(全体講義)



講義内容

- ・ 装備
- ・ ノコギリの使い方
- ・ 木の伐採方法、片づけ方
- ・ 樹林整備の方法
- ・ 安全に作業するための注意点



1 / 24 樹林整備活動の様子

生徒は、ふるさとの森をとりまく問題、樹林の働きや整備の必要性などの事前学習をふまえて、「土砂災害に強く、緑豊かな樹林づくり」を目的として、地元のNPO等の支援のもと、15班にわかれ、樹林を明るくするための木の間引き、ネザサの刈取りなどを行いました。

当日は、多治見中学校PTA、ミッ池の森整備の会、市之倉森づくりの会、PTA、砂防ボランティア、多治見市、多治見砂防国道事務所が協力し、生徒への伐採方法の指導などの活動支援を行いました。参加者は、中学生・支援者をあわせて、総勢211名でした。

集合の様子



総勢211名が整備に取り組みました

切る木・残す木を選定



残す木へのマーキング

ネザサの刈取り

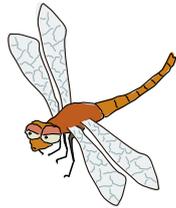


剪定ばさみを用いたネザサの刈取り

木の伐採



みんなで協力し、常緑低木や成長の悪い木を伐採しました



ノコギリを用いた木の伐採

切った木の片づけ

切った木は玉切りにして、整理して林内に置きました



樹林が明るくなりました！



整備前の樹林



整備後の樹林

生徒の感想例

- 木を切るとすごく森の中が明るくなると分かりました。
- 森にいるのときが楽しかったので、もっと森の豊かさを調べてみたいし、鳥や虫の動きも見てみたいと思いました。
- 森の整備なんて必要ないと思ったけど、意外と楽しかったです。できればもう一回やってみたいです

「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>